

2. 自転車に関する本市のこれまでの取り組みについて

2.1 北九州市自転車利用環境計画の策定

「元気発進！北九州プラン」に掲げる「世界の環境首都」にふさわしい交通体系の実現に向け、環境にやさしい自転車の利用環境の向上を図る総合計画として、平成24年11月に「北九州市自転車利用環境計画」を策定しました。

この計画に基づき、自転車通行空間ネットワーク形成などのハード施策に加え、ルール・マナー・教育などのソフト施策に取り組んできました。



図 北九州市自転車利用環境計画

自転車利用促進のためのテーマ

1. 「世界の環境首都」の実現
2. 健康増進
3. 「街なか」の賑わいづくり
4. 自転車のある新しいライフスタイルの創出

自転車利用の促進策

ハード施策

- 自転車通行空間ネットワーク形成
- 駐輪環境形成
- 自転車と公共交通の連携

ソフト施策

- ルール・マナー・教育
- 利用促進
(環境、健康、賑わいづくり・
新しいライフスタイル)

図 北九州市自転車利用環境計画の取り組み

2.2 自転車通行空間ネットワークの形成

本市では、小倉都心など、「自転車利用が多い地区」、「駅に自転車が集中する地区」、「自転車利用を促進する地区」である13の地区を整備拠点に設定し、これら拠点内及び拠点間を結ぶ自転車通行空間を整備することにより、自転車通行空間ネットワークの形成を推進してきました。

設定した13の整備拠点のうち、特に自転車利用の多い7つの地区について、

- ・公共交通、学校、主要商業施設、主な居住地区などを結ぶ地区内の自転車利用の主要路線
- ・自転車関連の事故が多い路線
- ・ネットワークの連続性を確保するために必要な路線

など、整備効果の高い路線を選定して、自転車ネットワーク計画を定め、この計画に基づき、令和元年度末までに約35kmの自転車通行空間の整備が完了しています。

また、7地区以外も含めた市内全体でみると、約40kmの整備が完了しています。

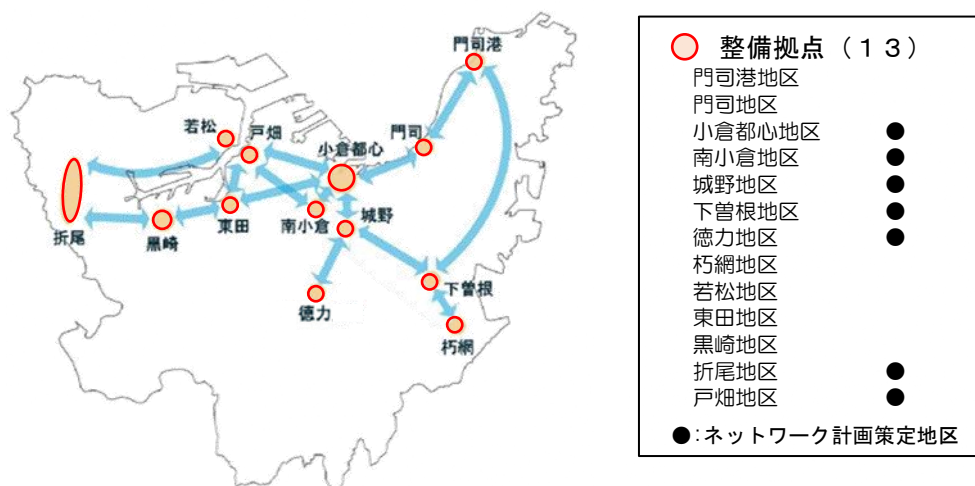


図 自転車通行空間ネットワーク形成のイメージ

区分	自転車道	自転車通行帯	車道混在	自転車歩行者道 (分離タイプ)	
図					計
延長	0.4km	15.4km	14.6km	9.2km	39.6km

図 自転車通行空間の整備実績（令和元年度末時点）

資料：北九州市道路維持課

2.3 駐輪環境の形成

自転車を利用する目的や利用時間等の利用特性に応じた駐輪施設の整備を進め、利用しやすい駐輪環境の形成を図りました。

(1) JR 駅等の交通結節点周辺に設置した駐輪施設

駐輪需要の多い JR 駅やモノレール駅、バス停の周辺に駐輪施設を設置し、周辺の放置自転車を抑制するとともに、自転車と公共交通との円滑な連携の促進を図りました。

<城野駅南>



<下曽根駅北口自転車駐車場>



<モノレール旦過駅>



JR 駅周辺などに設置した駐輪施設

資料：北九州市道路維持課

(2) まちなかに設置した駐輪施設

自転車での来訪者が多く、放置自転車が課題となっていた小倉都心部の旦過地区周辺や、堺町地区に駐輪施設を設置しました。

このうち小文字通りの路上駐輪施設では、買い物目的の駐輪需要に対応するため、短時間利用者向けの料金を設定するなど、利用特性に応じた駐輪施設の確保を推進しました。

<小文字通り(旦過地区周辺)>



<堺町地区>



まちなかに設置した駐輪施設

資料：北九州市道路維持課

(3) 公共の駐輪施設

表 公共の駐輪施設 (R2.4)

	箇所数	収容台数
市営有料自転車駐車場	24	7,909
市営無料自転車駐車場	47	4,489
その他の駐輪施設※	6	589
計	77	12,987

※小倉北区の旦過地区や堺町地区などに市と民間事業者が協働で設置した駐輪施設

2.4 自転車と公共交通との連携

JR 駅などの交通結節点周辺へ駐輪施設を整備するとともに、シェアサイクルステーションの増設や公共交通との接続強化により、本市のシェアサイクル事業である「シティバイク」の利用促進を図りました。

(1) JR 駅等の交通結節点周辺に設置した駐輪施設（再掲）

(2) シェアサイクルの利便性向上と公共交通との連携強化

本市では、小倉都心部に 7 箇所、東田地区に 3 箇所のシェアサイクルステーションを設置し、平成 22 年 3 月よりシェアサイクル事業「シティバイク」の運用を開始しました。

このシティバイクの利用促進を図るため、小倉都心部において、平成 24 年から平成 25 年にかけて、利用者からの要望を踏まえつつ、商業施設などの集積や公共交通との連携を考慮して、シェアサイクルステーションを 11 箇所増設するとともに、電動アシスト自転車を 130 台追加配置しました。

また、スマートフォンによる一時利用の受付サービスやモノレールの定期利用者に対する割引サービスを導入するなど、シェアサイクルの利便性向上と公共交通との連携強化を図りました。



図 シェアサイクルステーションマップ

<福岡銀行小倉支店横>



<平和通り第1>



資料：北九州市道路維持課

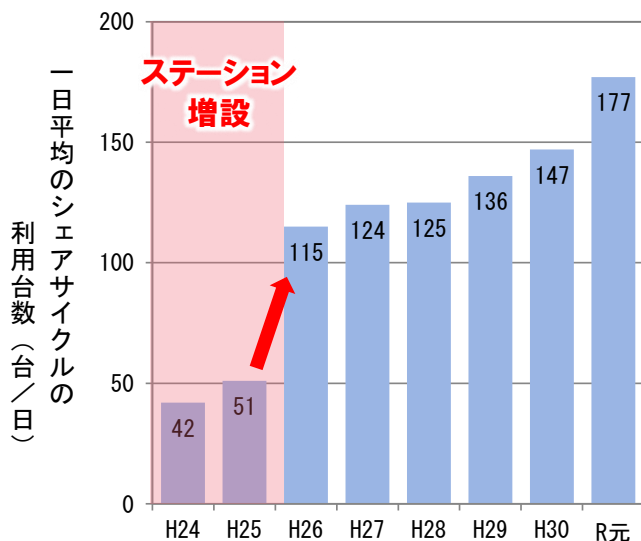


図 1 日平均のシェアサイクルの利用台数の推移

表 ステーション数と自転車保有台数の推移

	平成 22 年	令和元年
ステーション数	10箇所	20箇所*
自転車保有台数	116台	246台

※令和元年12月に東田地区の1箇所を廃止

資料：北九州市道路維持課

図 モノレール定期利用者への割引サービス



スマートフォンで手続きできる一時利用サービス

資料：北九州市道路維持課